

水生生物調査の概要

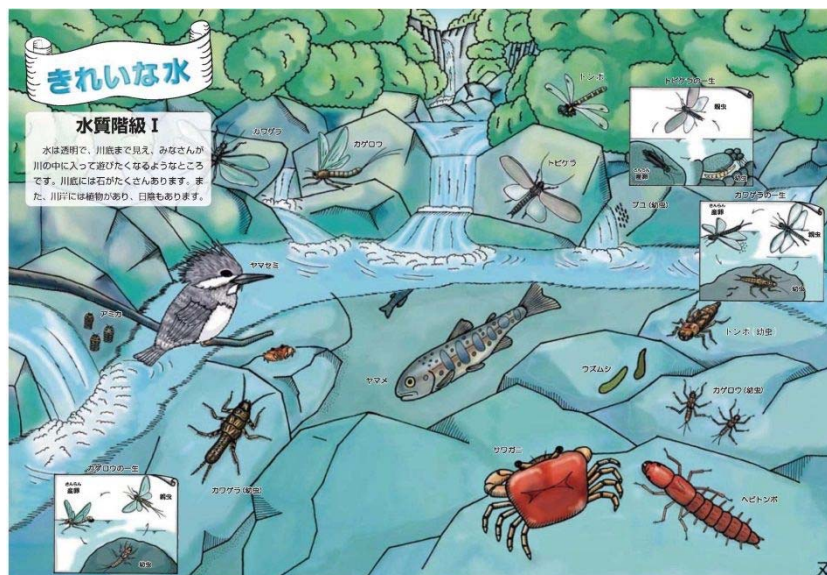
川底にどのような生物が住んでいるかを調べるにより、河川の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。そのため、国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年度から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という。）をはじめています。

この水生生物調査は、適切な指導のもと、誰にでも簡単にできるようになっています。

調査方法

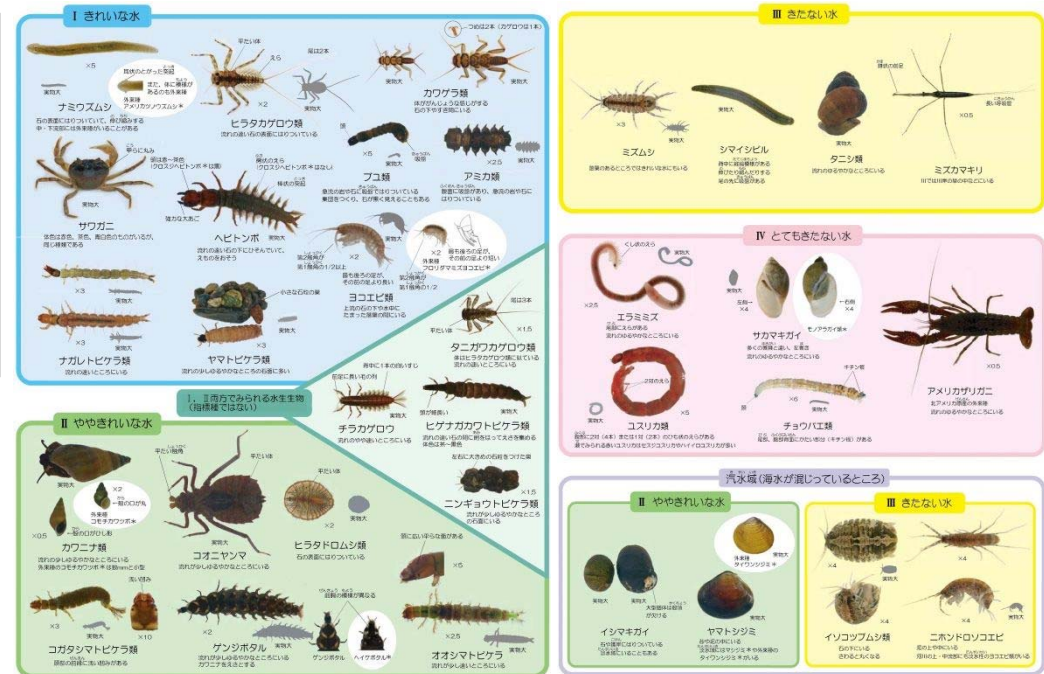
本調査では、水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質の指標性が高い29種を指標生物としています。

水生生物を採集して、指標生物を分類し、地点毎に、階級Ⅰ（きれいな水）、階級Ⅱ（ややきれいな水）、階級Ⅲ（きたない水）、階級Ⅳ（とてもきたない水）の4階級に分けて水質を判定します。



国土交通省水管理・国土保全局編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」より

水質階級と指標生物



階級Ⅰ（きれいな水）の生物		階級Ⅱ（ややきれいな水）の生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワナナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	ブユ類	○ヤマトシジミ	○イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
階級Ⅲ（きたない水）の生物		階級Ⅳ（とてもきたない水）の生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ニホンドロソコエビ	○イソコツブムシ類	チョウバエ類	

注）○は海水の少し混ざっている汽水域の生物